

製品名: PIGQ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16140**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	PIGQ GPI1
別名	
遺伝子 ID	9091.0
SwissProt ID	Q9BRB3
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 130~210

背景

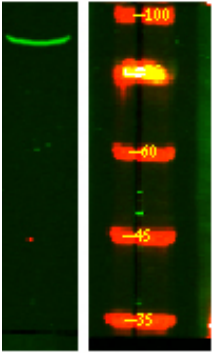
この遺伝子は、グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカー生合成の第一段階に関与しています。GPI アンカーは多くの血液細胞に存在する糖脂質であり、タンパク質を細胞表面に固定する役割を果たします。この遺伝子は、UDP-GlcNAc からホスファ

チジルイノシトール (PI) への N-アセチルグルコサミン (GlcNAc) の転移を触媒する複合体を構成する N-アセチルグルコサミン転移酵素の構成要素をコードしています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2012 年 6 月],触媒活性: UDP-N-アセチル-D-グルコサミン + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール = UDP + 6-(N-アセチル- α -D-グルコサミニル)-1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール。機能: UDP-N-アセチルグルコサミンからホスファチジルイノシトールへの N-アセチルグルコサミンの転移を触媒する複合体の一部。GPI 生合成の第一段階。経路: 糖脂質生合成; グリコシルホスファチジルイノシトールアンカー生合成。類似性: PIGQ ファミリーに属する。サブユニット: PIGA、PIGC、PIGH、PIGP、および DPM2 と関連する。DPM2 は活性に必須ではない。,

研究分野

グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカー生合成

画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。